

令和4年6月9日(木)
調布市立若葉小学校
第5学年4組34名

1. 領域名 ボール運動(ネット型)(全9時間)

2. 単元名 ソフトバレーボール

3. 単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
運動の楽しさや喜びを味わい、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすることができる。	ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦や練習方法を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。

4. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①簡易化されたゲームで攻防するためのボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けている。	①チームにあった練習方法を選んだり、作戦を立てたりしている。 ②課題解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。	①運動の楽しさを味わうために進んで取り組もうとしている。 ②ゲームの練習の中でルールやマナーを守り、仲間の考えや取り組みを認めている。 ③ゲームの練習の際に、場の設定や用具などを片付けたり、場の整備をしたりすることができるとともに、用具の安全に気を配ろうとしている。
学習活動に即した評価規準	①簡易化されたゲームの中で、レシーブ・パス等でボールを味方につなぎながら、相手コートに返している。 ②ボールをキャッチする、落下点や打ちやすい位置へ移動してボールをはじく、相手のコートに打ち返す等の動きを身に付けている。 ③ボールを持たないときの動きを身に付けている。	①チームの課題を見付け、チームにあった練習方法を選んでいる。 ②課題解決のために取り組んだ練習内容や、その効果について他者に伝えようとしている。 ③チームの特徴に合った作戦を選び、進んで練習やゲームに取り入れている。	①仲間と協力しながら、ボール運動の練習やゲームに取り組んでいる。 ②仲間の良い動きを認めたり、課題を解決するためのアドバイスをしたり、連携を取るための言葉掛けをしている。 ③場の設定や用具の片付けを進んで行い、自ら安全に気を配ろうとしている。

5. 調査研究

(1) 児童の実態

高学年になり、主に国語や社会の授業で児童が学習計画を立てたり、個別の学習課題を設定したりする機会を増やしている。また、課題解決の時間での学習への参加の仕方も個人やグループなど、児童が自ら選べる機会の設定を行っている。授業中における話し合い活動では、男女関係なく、それぞれの思いを伝えている姿が見られる。体育の授業では、安全に素早く動くことやチームでの話し合いなど基本的な行い方やルールは身に付いている。しかし、本単元のような、各チームで単元を通して課題を見付け、練習計画を立てたり、実行したりするという学習の流れはこれまであまり経験がない。ドリルゲームやメインゲームを通して、チームの課題を一人一人が考え、チームで話し合い、練習を実行し、改善していくという経験を積ませることで学習への意欲を高めていきたい。

6. 基礎研究

(1) 運動の特性

<構造的特性>

- ・2つのチームがネットを挟んだコートで相手チームとボールを打ち合い、集団対集団で得点を競い合う運動である。
- ・手でボールを打つ、レシーブ・パスなどの技能によってゲームが左右されるが、ボールをはじく動きがあるため思い通りにコントロールすることが難しい運動である。

<機能的特性>

- ・ネットによってコートが分かれ、相手との入り交じりがないため、自分たちの作戦通りに攻め方を考えながら取り組むことが楽しい運動である。
- ・ボールに対する恐怖心がある児童や技能的に苦手意識をもっている児童でも、軽く柔らかいボールを使用したり、規則を工夫したりすることで精一杯運動することができ、楽しめる運動である。
- ・手でボールを打ち、レシーブ・パス等で味方につなぎながら相手コートに返し、ラリーを続けていくと楽しい運動である。

<効果的特性>

- ・ソフトバレーボールのゲームを通して、打つ・キャッチする・落下点や打ちやすい位置へ移動する動きなどの巧緻性・敏捷性を身に付けることができる運動である。
- ・みんなが楽しめるゲームになるように規則を考えたり、攻め方を身に付けたりすることで、協力したり励まし合ったりする態度を養うことのできる運動である。
- ・勝敗を受け入れ、フェアプレーなどの経験を通して公正・公平に行動しようとする心情と態度を養うことのできる運動である。

(2) 系統性

学校種	小学校		
発達の段階	各種の運動の基礎を培う時期		多くの領域の学習を経験する時期
	第1学年・第2学年	第3学年・第4学年	第5学年・第6学年
領域 (領域の内容)	ゲーム (ボールゲーム)	ゲーム (ネット型ゲーム)	ボール運動 (ネット型)
技 能	ボールゲームでは、簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームをすること。	ネット型ゲームでは、ラリーを続けたら、ボールをつないだりして「易しいゲーム」をすること。	ネット型では、簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備によって、攻防をすること。

解説	ゲームの様相	<p>ボールゲームとは、簡単なボール操作の「ボール遊び」と簡単な規則で行われる「ボール投げゲーム」、「ボール蹴りゲーム」のことを指す。</p> <p>(ア) 物やマークなどの的に向かってボールを投げたり蹴ったりする目的のボール遊びで、個人対個人、集団対集団で競争するゲームをする。</p> <p>(イ) 攻めと守りを交代しながらボールを投げたり蹴ったりするゲーム(攻守交代のベースボール型ゲームに発展)をする。</p> <p>〈ボール遊びの例示〉</p> <p>【1・2年】</p> <p>○いろいろなボールを投げたり、ついたり、捕ったりしながら行ふ的当て遊びやキャッチボール</p> <p>〈ボール投げゲームの例示〉</p> <p>【1年】</p> <p>○ボールを転がしたり、投げたりする目的の当てゲーム</p> <p>【2年】</p> <p>○的当てゲームの発展したシュートゲーム</p> <p>〈ボール蹴りゲームの例示〉</p> <p>【1年】</p> <p>○ボールを蹴って行ふ的当てゲーム</p> <p>【2年】</p> <p>○的当てゲームの発展したシュートゲーム</p> <p>○ボールを蹴って行ふベースボール</p>	<p>ネット型ゲームにおける「易しいゲーム」とは、操作しやすいボールを用いたり、ボール操作についての制限を緩和したり、人数やコートを制限したりすることを通して、チームでボールをつなぎながら攻撃や守備ができやすくなるようにしたゲームのことを指す。</p> <p>(ア) ごく軽量のボールを片手や両手ではじいて自陣の味方にパスをしたり相手コートに返したりして、ラリーの続くゲームをする。また、弾むボールを床や地面に打ちつけて相手コートに返し、ラリーの続くゲームをする。</p> <p>(イ) 自陣から相手コートに向かって、相手が捕りにくいようなボールを返すゲームをする。</p> <p>〈ネット型ゲームの例示〉</p> <p>【3年】</p> <p>○ブレルボールを基にした易しいゲーム</p> <p>【4年】</p> <p>○ソフトバレーボールを基にした易しいゲーム</p>	<p>ネット型における「簡易化されたゲーム」とは、操作しやすいボールを用いたり、ボール操作についての制限を緩和したり、人数やコートを制限したりすることを通して、関係プレーによる攻撃やそれに対応する守備がしやすくなるように簡易化されたゲームを指す。</p> <p>(ア) 軽くてやわらかいボールを片手や両手で操作したり、チームの関係プレーによる攻撃が成り立つようにすばやく場所を移動したりして、ネットをはさんだゲームができるようにする。</p> <p>(イ) ボール操作についての制限を緩和したボールがつながりやすい状況の中で、相手が捕りにくいようなボールを打ち返すことができるようにする。</p> <p>〈ネット型の例示〉</p> <p>【5年】</p> <p>○ソフトバレーボール</p> <p>・キャッチ・トス・アタックでつなげるゲーム</p> <p>【6年】</p> <p>○ソフトボール</p> <p>・レシーブ、トス、アタックでつなげるゲーム</p>
	例示	<p>ボールや用具の操作</p> <p>〈ボール遊びの例示〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大小、弾む・弾まないなど、いろいろなボールで、つく、転がす、投げる、当てる、捕る、蹴る、止めるなどの簡単なボール操作をすること。 <p>〈ボール蹴りゲームの例示〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらったところに緩やかにボールを投げたり、転がしたり、蹴ったりすること。 ・ボールを捕ったり止めたりすること。 <p>ボールをもたない動き</p> <p>〈ボール蹴りゲームの例示〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを操作できる位置に動くこと。 ・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入ること。 	<p>〔例示〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな高さのボールを片手又は両手ではじく、打ちつけるなどして、相手のコートに返球すること。 	<p>〔例示〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自陣のコート（中央付近）から相手コートにサービスを打ち入れること。 ・味方が受けやすいようにボールをつなぐこと。 ・相手コートにボールを打ち返すこと。 <p>〔例示〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動すること。

7. 研究主題に迫るための具体的な手だて

【高め合いの手立て】

①兄弟チームの設定

お互いに練習相手になったり、高め合ったりできるチームをつくる。兄弟チームをつくることで、作戦を成功させるために必要な課題を実践的に見出すことができると考えた。

②作戦の例示

児童自ら作戦を立てることは難しい。そこで、作戦の例示集を提示し、その中から自分のチームに合ったものを選ばせることにした。作戦通りにうまくいかなかったとしても、挑戦することで、達成感や充実感を味わわせたい。

【認め合いの手立て】

①言葉掛け・タブレットの活用

児童の自己肯定感を高めるため、練習やゲームを通して、友達から掛けられて嬉しかった言葉を集め、タブレットを活用して共有できるようにする。「励ましの言葉」や「技能的なアドバイス」だけでなく、「準備や片付けの言葉」「話し合いの言葉」も加えるようにする。

②場や用具・ルールの工夫

ネットの高さを高く設定したり、サーブレシーバーのキャッチを認めたりすることでラリーが続き、一人一人の活躍場面が増え、認め合いにつながると考えた。

【協力し合いの手立て】

①個人やチームごとの課題解決

本單元では、チームの課題に対する練習を計画し進行していく時間を設けている。課題は、チームでドリルゲームやメインゲームを通して、自分たちで見付けている。または、個人の課題をチームの課題としてとらえている場合もある。それらを解決していくにはどのような練習をすればよいかをチームで考えさせた。そして、その練習が効果的であったかどうか、新たな課題などを考えさせることが、児童の主体性と多様性を広げていくことにつながると考えた。

【その他の手立て】

①準備運動のスタンダード化

体力向上のために全学年の準備運動を統一して実施していく。統一された準備運動を繰り返し行うことで、準備運動を自ら行える児童が育つと考えたからである。本校の体育の授業における準備運動は、よく使う部位の筋肉のほぐしを重視したストレッチが多くの授業の導入として実施されているが、ウォームアップやスキルアップとしての特性を踏まえた準備運動は十分に行われているとはいえない。そこで、これらの運動を組み合わせ、ストレッチだけではなく、ウォームアップ・スキルアップ・モチベーションアップにもつながることを意図し、音楽を用い、学習内容に応じて構成する準備運動を「若葉スタンダード」と称し、単元及び時間の授業の導入に、学校全体として統一して行っていくことにした。

8. 指導と評価の計画

		1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	9		
学習内容・活動	○学習内容の確認 ・本時の学習内容を知る。 ・めあてを確認する。 ○準備運動 (若葉小学校オリジナル) ○場の準備											
	○慣れの運動 ○オリエンテーション 「チームで協力！ラリーゲーム」 ・2 チームでネットを挟んでパスをつなぎ、制限時間内に何回ネットを行き来するか数える。 「サブキャッチゲーム」 ○試しのゲーム	○慣れの運動 「レシーブキャッチゲーム」 ○チーム練習 ・チームでの練習の仕方を知る。 「パス&ゴーゲーム」 「サブキャッチゲーム」 「アタックキャッチゲーム」 ○チームの課題の確認と練習の選択をする。	○慣れの運動 「パスパスゲーム」・「パス&ゴーゲーム」・「サブキャッチゲーム」・「アタックキャッチゲーム」などから1つ選び全体で取り組む。 ○チーム練習 ・チームの課題を確認する。 ・作戦を選択して、練習する。		○チーム練習 ・チームの課題を確認する。 ・それぞれの考えた作戦の練習に取り組む。		○チーム練習 ・チームの課題を確認する。 ・それぞれの考えた作戦の練習に取り組む。		○チーム練習 ・チームの課題を確認する。 ・それぞれの考えた作戦の練習に取り組む。			
	はじめのルール ①試合は前・後半で行い、時間内に多く点を取ったチームの勝ち ②ボールに触れるのは1回の攻撃で1度まで ③必ず3回攻撃 ④コート内は3人、得点が動くたびにローテーションを行う ⑤1人目はボールをキャッチしてもよい ⑥コートの外線は赤線 ⑦サーブは、下打ちで2本まで。2本目は下から投げ入れでもよい	○共有の時間 ・どのような課題があり、どのような練習をするのか全体で共有する。 ○チームタイム ・チームの課題に合わせた練習をする。 ○兄弟チームによるゲームの練習 ・ローテーションの仕方の確認 ・キャッチ→はじく→相手のコートへ という攻撃の基本の練習。 ・サーブ練習 ・ポジションの確認	○メインゲーム1 話し合いタイム → ゲーム7分 第3時 第4時 第5時	○共有の時間 ・うまくいった動き。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○チームタイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり、攻撃したりすると得点に結び付くか話し合う。	○共有の時間 ・うまくいった動きや作戦。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○練習、作戦タイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり攻撃したりすると得点に結びつくか作戦を立てる。 ・チームの連携をとるために、どのような声掛けをしたらよいか話し合う。	○メインゲーム1 (リーグ戦) 前半(4分) → 話し合いタイム → 後半(4分) 第7時 第8時 第9時	○共有の時間 ・うまくいった動きや作戦。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○練習、作戦タイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり攻撃したりすると得点に結びつくか作戦を立てる。 ・チームの連携をとるために、どのような声掛けをしたらよいか話し合う。	○共有の時間 ・うまくいった動きや作戦。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○練習、作戦タイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり攻撃したりすると得点に結びつくか作戦を立てる。 ・チームの連携をとるために、どのような声掛けをしたらよいか話し合う。	○共有の時間 ・うまくいった動きや作戦。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○練習、作戦タイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり攻撃したりすると得点に結びつくか作戦を立てる。 ・チームの連携をとるために、どのような声掛けをしたらよいか話し合う。	○共有の時間 ・うまくいった動きや作戦。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○練習、作戦タイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり攻撃したりすると得点に結びつくか作戦を立てる。 ・チームの連携をとるために、どのような声掛けをしたらよいか話し合う。	○共有の時間 ・うまくいった動きや作戦。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○練習、作戦タイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり攻撃したりすると得点に結びつくか作戦を立てる。 ・チームの連携をとるために、どのような声掛けをしたらよいか話し合う。	○共有の時間 ・うまくいった動きや作戦。 ・どんな練習が効果的か。 ・練習を通してレベルUPしたいこと。 ○練習、作戦タイム ・どのような課題があり、どんな練習をしたらよいか話し合う。 ・どのような動きをして、守ったり攻撃したりすると得点に結びつくか作戦を立てる。 ・チームの連携をとるために、どのような声掛けをしたらよいか話し合う。
	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	○チームでの振り返り ・チームの課題について話し合い、次時でどのような練習に取りみたいか考える。	
○場の片付け												
○全体での振り返り ・話し合ったことを全体で共有する。	○全体での振り返り ・課題に合わせた練習をしてどうだったか共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。	○振り返り ・個人の振り返り ・チーム力UPにつながる言葉掛けの共有 (タブレット端末の活用) ・各チームで行った練習や考えた動きがどのようにゲームに生かすことができたか全体で共有する。		
○整理運動 ○全体のまとめ												
重点	知識・技能				○			○		○		
	思考力・表現力 判断力		○			○		○		○		
	学びに向かう 人間性	○				○				○		

9. 本時の学習（5／9時間目）

①本時のねらい

- ・チームの課題解決に向けた練習を選ぶことができる。
- ・仲間の良い動きを認めたり、課題を解決するためのアドバイスをしたり、連携を取るための言葉掛けができる。

②展開

時	学習内容・活動	○支援	☆評価								
1	整列・あいさつ										
2	本時の学習の確認										
<p>チームに必要な練習を行い、試合にいかそう</p>											
3	準備運動・ボール操作の運動		○怪我の防止につなげるためゲームでよく使う部分を中心に準備運動を行う。								
4	ボール慣れの運動（フォーメーションアタック）		○良い動きを真似できるように、ボールの下に入ってトスするなど、広めていきたい良い動きに対して、声を掛ける。								
<p>○ケンパーのある位置につき、3回攻撃でアタックまでつなげる。 ○時間内にアタックが何回ネットをこえるかを競う。</p>			○安全に行えるようにするため、役割を明確にする。								
5	場の準備		○話し合いの際、前時での課題に対する練習ができるように、声を掛ける。								
6	チーム練習話し合い →チーム練習		☆チームの課題に合った練習方法を選んだり、練習したりしている。								
7	メインゲーム1		【思・判・表】								
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>ゲーム1</td> <td style="text-align: center;">緑－青</td> <td style="text-align: center;">赤－紫</td> <td style="text-align: center;">橙－黄</td> </tr> </table>		1	2	3	ゲーム1	緑－青	赤－紫	橙－黄		○チームで練習したことを意識してゲームに参加できるように、声を掛ける。
	1	2	3								
ゲーム1	緑－青	赤－紫	橙－黄								
<p>ゲームのルール</p> <p>①3人对3人（チームは4～5人。ローテーション） ②時間制（1ゲーム4分） ③サーブから始める。（下から） ④3タッチ。（1人1回まで） ⑤キャッチあり。（1人目のみ）</p>			○次のゲームに向け対策を考え、試合と試合の合間に、チームの課題に対して効果的な練習ができたグループの取組を全体で共有する。								
8	チーム練習話し合い →チーム練習		☆仲間の良い動きを認めたり、課題を解決するためのアドバイスをしたり、連携を取るための言葉掛けをしている。 【主】								
9	メインゲーム2										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>ゲーム2</td> <td style="text-align: center;">赤－橙</td> <td style="text-align: center;">紫－青</td> <td style="text-align: center;">緑－黄</td> </tr> </table>		1	2	3	ゲーム2	赤－橙	紫－青	緑－黄		
	1	2	3								
ゲーム2	赤－橙	紫－青	緑－黄								
10	用具の片付け										
11	整理運動										
12	振り返り ジャムボードを使って、アドバイスや励ましの言葉をチームごとに集める →個人の学習カードへの記入 →全体で共有		○色々な言葉掛けが出てくるよう、これまでに出ていない言葉などをふり返られようにする。								
13	整列・あいさつ										

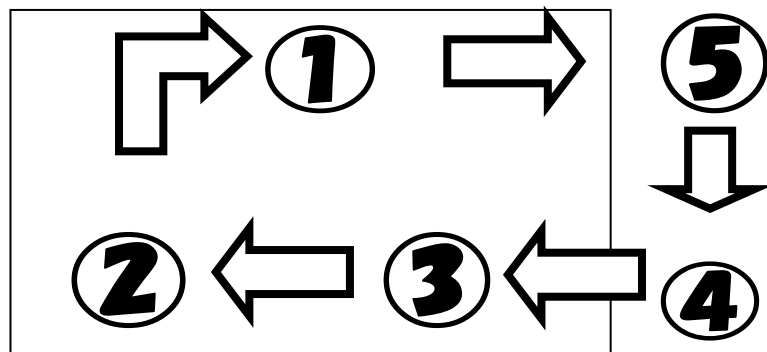
ソフトバレーボールはじめのルール

○ボールにさわれるのは、1回の攻撃で1人1回

○必ず3回攻撃で返す。

(ダイレクトや2回での返球はなし)

○コート内は3人。1点入るごとにローテーションを行う。



※お休みで、抜けている番号がある時には、その番号はとばしましょう。
※6人チームは外で待つ人を1人増やす。

○1人目は、ソフトバレーボールをキャッチする。

(キャッチした後は、投げて2人目にパスする)

○試合は、時間内に何点とれたかを競う。

○コート内の線は赤線とする。

○サーブは1回目は下手打ち、入らない場合、2回目は投げて入れてよい。

※2回目も失敗したら、相手の得点とする。

追加ルール

ソフトバレーボール運動学習カード

名前()

今日のめあて 月 日()

★今日の結果

第1試合 相手()	第2試合 相手()
対	対

★今日の学習を振り返ろう ◎:よくできた ○:できた △:もう少し

①チームで励まし合い、楽しむことができたか。	◎	○	△
②作戦を意識し、友達に具体的な言葉かけができたか。	◎	○	△
③チームで協力しボールを打ったり、パスしたりできたか。	◎	○	△

チームや自分の良かったところ 等

今日のめあて 月 日()

★今日の結果

第1試合 相手()	第2試合 相手()
対	対

★今日の学習を振り返ろう ◎:よくできた ○:できた △:もう少し

①チームで励まし合い、楽しむことができたか。	◎	○	△
②作戦を意識し、友達に具体的な言葉かけができたか。	◎	○	△
③チームで協力しボールを打ったり、パスしたりできたか。	◎	○	△

チームや自分の良かったところ 等
